

◎コースについて: 言語学専攻博士前期課程には、言語学一般、言語聴覚研究コース、英語教授法コース、日本語教育学コースがあり、出願資格・審査方法等がコースにより異なる。出願時にいずれかのコースを選択する必要があり、入学後に他のコースへ変更することはできない。また、言語聴覚研究コースでは履修要件を満たすことにより、言語聴覚士の国家試験受験資格を取得することが可能。なお、国家試験の受験資格を得るためには、2年半の在籍が必要となる。

◎英語教授法コースの出願要件:

入試要項(共通)p.6~7 記載の出願資格に加え、以下の要件を両方とも満たす者。

1. TOEFL iBT 79 点以上、IELTS 6.0 以上、または英検 1 級のいずれかに該当する者(英語を母語としない者のみ)。なお、出願期間より遡って 2 年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。
2. 下記の①~④のいずれかに該当する者。
 - ① 教育職員免許状(教科の種類は問わない)を取得済の者。
 - ② 2021 年 3 月に教育職員免許状(教科の種類は問わない)を取得見込の者。
 ※教育職員免許状の取得見込で合格をした場合でも、教育職員免許状が取得できなかった場合や、所定の期日(2021 年 3 月 31 日)までに、教育職員免許状のコピーを提出できない場合、本学への入学資格を失う。
 - ③ 国内外の教育機関(学校、学習塾、語学教育施設など)、企業において、出願時点で 1 年以上の外国語教育指導の経験がある者。なお、主たる業務内容が外国語教育でない場合は出願資格として認められない。※家庭教師経験は除く。
 - ④ CELTA 認定証を取得済みの者。

< 一般入試 (博士前期) >

(1) 出願前の事前連絡等

- ・入試説明会はコース別に実施予定。詳細は本学 Web サイトに掲載。
- ・言語学一般コースにおいて、第 2 外国語として中国語を希望する者は、出願期間の 1 ヶ月前までに専攻事務室(入試要項(共通)p.1 参照)に問い合わせること。

(2) 出願に必要な書類

< 全コース共通の必須提出書類 >

- ① 志願票、卒業(見込)証明書、成績証明書…入試要項(共通)p.10 参照
- ② 意見書(本学外国語学部卒業(見込)者、本専攻の研究生・外国人特別研究生は不要)
 所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)または、それに準ずる形式で作成すること。出身大学・大学院の指導教員が作成し(難しい場合は勤務先の上司等でも可)、提出の際は、厳封の上、封筒表に「意見書在中」と記載すること。なお、本専攻の授業担当教員(非常勤講師は除く)への依頼は不可とする。
- ③ 在留カード表面のコピー(2 月入試に出願する外国籍の志願者のみ)

< 言語学一般 >

- ④ 本専攻へ入学を希望する理由、目的等をまとめたもの(日本語または英語で A4 判 1 枚程度)。
- ⑤ 語学検定試験結果の証明書
 ・【9 月入試のみ】第 1 外国語として英語を選ぶ者のみ、TOEFL のスコア。
 出願期間より遡って 2 年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。提出方法は入試要項(共通)p.11 参照。
 2021 年度入試の特例措置として、過去 2 年以内のスコアを持っていない場合に限り、以下を追加する。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響で、受験予定だった上記外国語検定試験が中止となった受験生は、有効期間外(出願期間開始月から遡って2年以上前に受験)のスコアの提出も可とする。本学に公式証明書が直送できない場合は、受験者本人に届く証明書の原本(または原本証明印のあるコピー)も受け付ける。

・第1外国語・第2外国語として日本語を選ぶ者のみ、日本語能力試験(N1)「認定結果及び成績に関する証明書」または「合否結果通知書」、あるいはJ.TEST「A-Cレベル試験 成績証明書」。出願期間より遡って2年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。提出方法は入試要項(共通)p.11 参照。

<言語聴覚研究コース>

④ 言語聴覚研究コースへ入学を希望する理由、目的等を日本語でまとめたもの(1,600字程度)。

<英語教授法コース> ※前ページの出願要件を必ず確認すること。

④ 小論文

英語教授法コースに進学する理由、目的等を英語でまとめたもの(2,000ワード以内)。

⑤ 出願要件 1. の英語の能力を証明するもの(英語を母語としない者のみ)。

提出方法は入試要項(共通)p.11 参照。

2021年度入試の特例措置として、過去2年以内のスコアを持っていない場合に限り、以下を追加する。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響で、受験予定だった上記外国語検定試験が中止となった受験生は、有効期間外(出願期間開始月から遡って2年以上前に受験)のスコアの提出も可とする。本学に公式証明書が直送できない場合は、受験者本人に届く証明書の原本(または原本証明印のあるコピー)も受け付ける。

⑥ 出願要件 2. の①~④のいずれかを証明するもの。

教育職員免許状のコピー、教育職員免許状取得見込証明書、勤務先等の在職証明書(またはそれに代わるもの)、CELTA 認定証のコピーのうちいずれかひとつ。勤務先等の在職証明書を提出する場合は、外国語の指導経験が1年以上あることが明記されている内容のものを提出すること。

<日本語教育学コース>

④ 日本語教育学コースに入学を希望する理由、目的等を日本語でまとめたもの(1,600字程度)

⑤ 日本語を母語としない者は日本語能力試験(N1)の「認定結果及び成績に関する証明書」または「合否結果通知書」

出願期間より遡って2年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。提出方法は入試要項(共通)p.11 参照。

⑥ 以下 1. ~5. の日本語教育学の履修歴や日本語教育の指導経験等の証明書(任意)

※出願要件ではないものの、少なくともいずれか一つを満たすことを推奨しており、総合判定において考慮される。

1. 学部において日本語教育を主専攻または副専攻の者。

(上智大学の学部から直接、大学院に進学する場合、日本語教育関連科目20単位以上を履修済み、あるいは履修見込み。ただし、外国語学部の言語研究コースの履修証明、または日本語教育科目履修証明を取得または取得見込みであることが望ましい。)

2. 民間の日本語教師養成機関で420時間(学部日本語教育副専攻と同等)のコースを履修済み、あるいは2021年3月までに履修を終える見込の者(養成機関からの証明書が発行されない場合は、養成機関の責任者が発行する証明書の提出でも可)。

3. 日本語教育学会認定の日本語教育能力検定試験に合格した者。

4. 国内外の教育機関(学校、語学教育機関、自治体の運営するボランティア団体など)において、出願時点で1年以上の日本語の教育指導経験がある者。

5. 大学院の研究生として日本語教育関連科目20単位以上を履修している者、あるいは履修見込の者(大学からの証明書が発行されない場合、研究科、専攻の所属長が発行する証明書の提出でも可)。

※過去の学習歴、経験によっては、入学後、博士前期課程修了に必要な単位に加え、学部レベルの日本語教育関連コースの履修を義務づけることもある。

(3) Web 出願システム登録時の注意点

<全コース共通>

- ・コースについては、Web 出願システム入力画面の「志望コース、領域等」欄で、「言語学一般」「言語聴覚研究コース」「英語教授法コース」「日本語教育学コース」のいずれかを選択すること。

<言語学一般>

- ・外国語科目(2ヶ国語)については、Web 出願システム入力画面の「選択外国語 1」で第 1 外国語、「選択外国語 2」欄で第 2 外国語をそれぞれ選択すること。

(4) 試験内容

<言語学一般> [日程・・・9 月入試:筆記試験 9/16(水)・口述試験 9/17(木)、2 月入試:筆記試験 2/16(火)・口述試験 2/17(水)]

筆記試験	第 1 外国語 〈選択科目〉	9:30～11:00	英、独、仏、西、葡、露、日本語の 7 言語から母語以外の 1 ヶ国語を出願時に選択。 入学後、主として研究対象とする言語がこれらの中にある場合は(それが母語でなければ)その言語を選び、ない場合は上記 7 言語のうち(母語以外の)いずれの言語を選んでよい。母語を研究対象にするものは、上記 7 言語のうち、母語以外のいずれかを選ぶ。 ※【9 月入試のみ】英語を第 1 外国語とする場合、筆記試験は行わず、TOEFL のスコア(原則として iBT 79 点以上とする)によって選抜する。 ※日本語を第 1 外国語とする場合、筆記試験は行わず、日本語能力試験(N1)あるいは J.TEST「A-C レベル試験」の得点によって選抜する。
	第 2 外国語 〈選択科目〉	11:10～11:40	上記の外国語から第 1 外国語として選んだ言語以外を出願時に選択。 ※日本語を第 2 外国語とする場合、筆記試験は行わず、日本語能力試験(N1)あるいは J.TEST「A-C レベル試験」の得点によって選抜する。 ※第 2 外国語として中国語を希望する者は、出願期間の 1 ヶ月前までに専攻事務室(入試要項(共通)p.1 参照)に問い合わせること。 ※英語以外の第 2 外国語のみ辞書の使用を認める。
	専門科目	13:00～15:00	言語学(音声学を含む)の基礎知識の試験。
口述試験		口述試験日の 10:00～	

※日本語を母語とする者は英語を、それ以外の者は日本語を、第 1 外国語または第 2 外国語として選択しなければならない。また、修士論文は第 1 外国語として選んだ言語で書く。

※特に記載のない場合は、辞書の持込は不可とする。辞書の使用を許可している場合も、電子辞書の使用は不可とする。

<言語聴覚研究コース> [日程:9 月入試:筆記試験 9/16(水)・口述試験 9/17(木)、2 月入試:筆記試験 2/16(火)・口述試験 2/17(水)]

筆記試験	専門科目	9:30～11:00	言語聴覚障害学に関する文章の設問についての論述試験。
	英語	11:10～11:40	辞書の使用を認める。
	小論文	13:00～14:00	
口述試験		口述試験日の 10:00～	

※辞書の使用を許可している場合も、電子辞書は不可とする。

<英語教授法コース> [日程・・・9月入試:口述試験 9/16(水)、2月入試:口述試験 2/16(火)]

口述試験	10:00～	英語による面接試験。
------	--------	------------

<日本語教育学コース>[日程:9月入試:筆記試験 9/16(水)・口述試験 9/17(木)、2月入試:筆記試験 2/16(火)・口述試験 2/17(水)]

筆記試験	専門科目	9:30～11:00	日本語教育学に関する設問についての論述試験。
	英語	11:10～12:10	辞書の使用を認める。
	日本語	13:00～14:00	日本語を母語としない者のみ。
口述試験		口述試験日の 10:00～	

※辞書の使用を許可している場合も、電子辞書は不可とする。

<一般入試(博士後期)>

◎事前連絡: 必須ではありません。

(1)出願に必要な書類

- ① 志願票、修了(見込)証明書、成績証明書・・・入試要項(共通)p.10 参照
- ② 大学院における研究計画書(日本語で 12,000 字以内または英語で 5,000 ワード以内)
- ③ 修士論文、あるいは修士論文がない場合は同等の論文のコピー(本学言語学専攻修了(見込)者は不要)
- ④ その他、研究論文がある場合にはそのコピー
- ⑤ 意見書(本学言語学専攻博士前期課程修了(見込)者は不要)

所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)または、それに準ずる形式で作成すること。出身大学・大学院の指導教員が作成し(難しい場合は勤務先の上司等でも可)、提出の際は、厳封の上、封筒表に「意見書在中」と記載すること。

- ⑥ 在留カード表面のコピー(外国籍の志願者のみ)

(2)Web 出願システム登録時の注意点

・指導教員の選択については、Web 出願システム入力画面の「指導教員」欄に第 2 希望まで教員名を入力すること。

(3)試験内容 [日程・・・2月入試:口述試験 2/17(水)]

口述試験	口述試験日の 10:00～	
------	------------------	--

出願書類チェックリスト

出願書類はチェックリストの順に並べてください。下記のチェック欄(□)に✓印を付け、他の出願書類とともに提出してください。

出願書類の詳細については、必ず大学院入試要項(共通)および各専攻の試験概要ページを熟読してください。

氏名(カタカナ): _____

言語学専攻 言語学一般(博士前期) 一般入試

	提出書類	対象者	備考
<input type="checkbox"/>	上智大学志願票	全員	Web 出願システムで出願に必要な情報をもれなく入力し、入学検定料の支払い後、印刷してください。 ※写真(紙焼き)を貼付する必要はありません。
<input type="checkbox"/>	最終出身大学 学位取得(見込)証明書	全員	最終出身大学の学位取得(見込)証明書 ・日本の大学出身者は卒業(見込)証明書 ・外国の大学出身者は、学位名の記載された学位取得(見込)証明書
<input type="checkbox"/>	最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ、最終出身大学院(修士または博士前期課程)の学位取得(見込)証明書 ・日本の大学出身者は卒業(見込)証明書 ・外国の大学出身者は、学位名の記載された学位取得(見込)証明書
<input type="checkbox"/>	最終出身大学成績証明書	全員	在籍していた全ての大学(学部)の成績証明書
<input type="checkbox"/>	最終出身大学院成績証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ、在籍していた全ての大学院の成績証明書
<input type="checkbox"/>	意見書	全員※	※本学外国語学部卒業(見込)者、本専攻の研究生・外国人特別研究生は不要。 所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)または、それに準ずる形式で作成すること。出身大学・大学院の指導教員が作成し(難しい場合は勤務先の上司等でも可)、提出の際は、厳封の上、封筒表に「意見書在中」と記載すること。 なお、本専攻の授業担当教員(非常勤講師は除く)への依頼は不可とする。
<input type="checkbox"/>	本専攻へ入学を希望する理由、 目的等をまとめたもの	全員	日本語または英語で A4 判 1 枚程度。
<input type="checkbox"/>	TOEFL のスコア 2021 年度入試の特例措置 については入試要項を 参照のこと	【9 月入試】 第 1 外国語として 英語を選ぶ者	・出願期間より遡って 2 年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。 ・出願書類に Test Taker Score Report のコピーを同封し、出願締切日までに Institutional Score Report が上智大学(大学コード:0819)に直接届くように米国 ETS に申請すること。なお、Test Date スコアのみが出願スコアとして有効である(MyBest スコアは利用できない)。また、ITP(Institutional Testing Program)は認めない。
<input type="checkbox"/>	日本語能力試験(N1)「認定結果 及び成績に関する証明書」また は「合否結果通知書」、 あるいは J.TEST「A-C レベル試 験 成績証明書」	【9 月入試】 【2 月入試】 第 1 外国語・ 第 2 外国語として 日本語を選ぶ者	・出願期間より遡って 2 年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。 ・実施団体から発行された試験結果通知書の原本、または、その写しに出身学校や本学入学センターで原本証明を受けたものを提出する。なお、合格した級の認定書(認定証)ではなく、必ず成績(得点)が記載された証明書が必要。
<input type="checkbox"/>	在留カード表面のコピー	2 月入試に出願 する外国籍の 志願者のみ	

出願書類チェックリスト

出願書類はチェックリストの順に並べてください。下記のチェック欄(□)に✓印を付け、他の出願書類とともに提出してください。

出願書類の詳細については、必ず大学院入試要項(共通)および各専攻の試験概要ページを熟読してください。

氏名(カタカナ): _____

言語学専攻 言語聴覚研究コース(博士前期) 一般入試

	提出書類	対象者	備考
<input type="checkbox"/>	上智大学志願票	全員	Web 出願システムで出願に必要な情報をもれなく入力し、入学検定料の支払い後、印刷してください。 ※写真(紙焼き)を貼付する必要はありません。
<input type="checkbox"/>	最終出身大学 学位取得(見込)証明書	全員	最終出身大学の学位取得(見込)証明書 ・日本の大学出身者は卒業(見込)証明書 ・外国の大学出身者は、学位名の記載された学位取得(見込)証明書
<input type="checkbox"/>	最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ、最終出身大学院(修士または博士前期課程)の学位取得(見込)証明書 ・日本の大学出身者は卒業(見込)証明書 ・外国の大学出身者は、学位名の記載された学位取得(見込)証明書
<input type="checkbox"/>	最終出身大学成績証明書	全員	在籍していた全ての大学(学部)の成績証明書
<input type="checkbox"/>	最終出身大学院成績証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ、在籍していた全ての大学院の成績証明書
<input type="checkbox"/>	意見書	全員※	※本学外国語学部卒業(見込)者、本専攻の研究生・外国人特別研究生は不要。 所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)または、それに準ずる形式で作成すること。出身大学・大学院の指導教員が作成し(難しい場合は勤務先の上司等でも可)、提出の際は、厳封の上、封筒表に「意見書在中」と記載すること。 なお、本専攻の授業担当教員(非常勤講師は除く)への依頼は不可とする。
<input type="checkbox"/>	言語聴覚研究コースへ入学を希望する理由、目的等を日本語でまとめたもの	全員	1,600 字程度
<input type="checkbox"/>	在留カード表面のコピー	2 月入試に出願する外国籍の志願者のみ	

出願書類チェックリスト

出願書類はチェックリストの順に並べてください。下記のチェック欄(□)に✓印を付け、他の出願書類とともに提出してください。

出願書類の詳細については、必ず大学院入試要項(共通)および各専攻の試験概要ページを熟読してください。

氏名(カタカナ): _____

言語学専攻 英語教授法コース(博士前期) 一般入試

	提出書類	対象者	備考
<input type="checkbox"/>	上智大学志願票	全員	Web 出願システムで出願に必要な情報をもれなく入力し、入学検定料の支払い後、印刷してください。 ※写真(紙焼き)を貼付する必要はありません。
<input type="checkbox"/>	最終出身大学 学位取得(見込)証明書	全員	最終出身大学の学位取得(見込)証明書 ・日本の大学出身者は卒業(見込)証明書 ・外国の大学出身者は、学位名の記載された学位取得(見込)証明書
<input type="checkbox"/>	最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ、最終出身大学院(修士または博士前期課程)の学位取得(見込)証明書 ・日本の大学出身者は卒業(見込)証明書 ・外国の大学出身者は、学位名の記載された学位取得(見込)証明書
<input type="checkbox"/>	最終出身大学成績証明書	全員	在籍していた全ての大学(学部)の成績証明書
<input type="checkbox"/>	最終出身大学院成績証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ、在籍していた全ての大学院の成績証明書
<input type="checkbox"/>	意見書	全員※	※本学外国語学部卒業(見込)者、本専攻の研究生・外国人特別研究生は不要。 所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)または、それに準ずる形式で作成すること。出身大学・大学院の指導教員が作成し(難しい場合は勤務先の上司等でも可)、提出の際は、厳封の上、封筒表に「意見書在中」と記載すること。 なお、本専攻の授業担当教員(非常勤講師は除く)への依頼は不可とする。
<input type="checkbox"/>	小論文	全員	英語教授法コースに進学する理由、目的等を英語でまとめたもの(2,000ワード以内)。
<input type="checkbox"/>	出願要件 1. の英語の能力を証明するもの 2021 年度入試の特例措置 については入試要項を 参照のこと	英語を母語としない者のみ	TOEFL iBT 79 点以上、IELTS 6.0 以上、または英検 1 級のスコア ・出願期間より遡って 2 年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。 ・TOEFL の場合、 <u>出願書類に Test Taker Score Report のコピーを同封し、出願締切日までに Institutional Score Report が上智大学(大学コード:0819)に直接届くように米国 ETS に申請すること。</u> なお、Test Date スコアのみが出願スコアとして有効である(MyBest スコアは利用できない)。また、ITP(Institutional Testing Program)は認めない。 ・IELTS の場合、 <u>出願書類に本人用成績証明書(Test Report Form)のコピーを同封し、出願締切日までに実施団体から上智大学に成績証明書(Test Report Form)が直接届くように実施団体に申請すること。</u> なお、試験の種類はアカデミック・モジュールのみ有効である。 ・英検の場合、実施団体から発行された試験結果通知書(認定書)の原本、または、その写しに出身学校や本学入学センターで原本証明を受けたものを提出する。
<input type="checkbox"/>	出願要件 2. の①～④のいずれかを証明するもの	全員	教育職員免許状のコピー、教育職員免許状取得見込証明書、勤務先等の在職証明書(またはそれに代わるもの)、CELTA 認定証のコピーのうちいずれかひとつ。 勤務先等の在職証明書を提出する場合は、外国語の指導経験が 1 年以上あることが明記されている内容のものを提出すること。
<input type="checkbox"/>	在留カード表面のコピー	2 月入試に出願する外国籍の志願者のみ	

出願書類チェックリスト

出願書類はチェックリストの順に並べてください。下記のチェック欄(□)に✓印を付け、他の出願書類とともに提出してください。

出願書類の詳細については、必ず大学院入試要項(共通)および各専攻の試験概要ページを熟読してください。

氏名(カタカナ): _____

言語学専攻 日本語教育学コース(博士前期) 一般入試

	提出書類	対象者	備考
<input type="checkbox"/>	上智大学志願票	全員	Web 出願システムで出願に必要な情報をもれなく入力し、入学検定料の支払い後、印刷してください。 ※写真(紙焼き)を貼付する必要はありません。
<input type="checkbox"/>	最終出身大学 学位取得(見込)証明書	全員	最終出身大学の学位取得(見込)証明書 ・日本の大学出身者は卒業(見込)証明書 ・外国の大学出身者は、学位名の記載された学位取得(見込)証明書
<input type="checkbox"/>	最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ、最終出身大学院(修士または博士前期課程)の学位取得(見込)証明書 ・日本の大学出身者は卒業(見込)証明書 ・外国の大学出身者は、学位名の記載された学位取得(見込)証明書
<input type="checkbox"/>	最終出身大学成績証明書	全員	在籍していた全ての大学(学部)の成績証明書
<input type="checkbox"/>	最終出身大学院成績証明書	該当者のみ	大学院の学歴がある場合のみ、在籍していた全ての大学院の成績証明書
<input type="checkbox"/>	意見書	全員※	※本学外国語学部卒業(見込)者、本専攻の研究生・外国人特別研究生は不要。 所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)または、それに準ずる形式で作成すること。出身大学・大学院の指導教員が作成し(難しい場合は勤務先の上司等でも可)、提出の際は、厳封の上、封筒表に「意見書在中」と記載すること。 なお、本専攻の授業担当教員(非常勤講師は除く)への依頼は不可とする。
<input type="checkbox"/>	日本語教育学コースに入学を希望する理由、目的等を日本語でまとめたもの	全員	1,600 字程度。
<input type="checkbox"/>	日本語能力試験(N1)の「認定結果及び成績に関する証明書」または「合否結果通知書」	日本語を母語としない者	・出願期間より遡って 2 年以内に受験し、出願締切日までに結果の出ている試験結果のみ有効とする。 ・実施団体から発行された試験結果通知書の原本、または、その写しに出身学校や本学入学センターで原本証明を受けたものを提出する。
<input type="checkbox"/>	日本語教育学の履修歴や日本語教育の指導経験等の証明書	任意	1. 学部において日本語教育を主専攻または副専攻の者。 (上智大学の学部から直接、大学院に進学する場合、日本語教育関連科目 20 単位以上を履修済み、あるいは履修見込み。ただし、外国語学部の言語研究コースの履修証明、または日本語教育科目履修証明を取得または取得見込みであることが望ましい。) 2. 民間の日本語教師養成機関で 420 時間(学部日本語教育副専攻と同等)のコースを履修済み、あるいは 2021 年 3 月までに履修を終える見込の者(養成機関からの証明書が発行されない場合は、養成機関の責任者が発行する証明書の提出でも可)。 3. 日本語教育学会認定の日本語教育能力検定試験に合格した者。 4. 国内外の教育機関(学校、語学教育機関、自治体の運営するボランティア団体など)において、出願時点で 1 年以上の日本語の教育指導経験がある者。 5. 大学院の研究生として日本語教育関連科目 20 単位以上を履修している者、あるいは履修見込の者(大学からの証明書が発行されない場合、研究科、専攻の所属長が発行する証明書の提出でも可)。
<input type="checkbox"/>	在留カード表面のコピー	2 月入試に出願する外国籍の志願者のみ	

出願書類チェックリスト

出願書類はチェックリストの順に並べてください。下記のチェック欄(□)に✓印を付け、他の出願書類とともに提出してください。

出願書類の詳細については、必ず大学院入試要項(共通)および各専攻の試験概要ページを熟読してください。

氏名(カタカナ): _____

言語学専攻(博士後期) 一般入試

	提出書類	対象者	備考
<input type="checkbox"/>	上智大学志願票	全員	Web 出願システムで出願に必要な情報をもれなく入力し、入学検定料の支払い後、印刷してください。 ※写真(紙焼き)を貼付する必要はありません。
<input type="checkbox"/>	最終出身大学院 学位取得(見込)証明書	全員	最終出身大学院(修士または博士前期課程)の学位取得(見込)証明書 ・日本の大学出身者は卒業(見込)証明書 ・外国の大学出身者は、学位名の記載された学位取得(見込)証明書
<input type="checkbox"/>	最終出身大学院成績証明書	全員	在籍していた全ての大学院の成績証明書
<input type="checkbox"/>	大学院における研究計画書	全員	日本語で 12,000 字以内または英語で 5,000 ワード以内。
<input type="checkbox"/>	修士論文、あるいは修士論文がない場合は同等の論文のコピー	全員※	※本学言語学専攻修了(見込)者は不要。
<input type="checkbox"/>	その他、研究論文がある場合にはそのコピー	該当者のみ	
<input type="checkbox"/>	意見書	全員※	※本学言語学専攻博士前期課程修了(見込)者は不要。 所定用紙(本学 Web サイトの「大学院入学試験」の項に掲載)または、それに準ずる形式で作成すること。出身大学・大学院の指導教員が作成し(難しい場合は勤務先の上司等でも可)、提出の際は、厳封の上、封筒表に「意見書在中」と記載すること。
<input type="checkbox"/>	在留カード表面のコピー	2月入試に出願する外国籍の志願者のみ	